

# ひなの家押野通信第27号

## 「節分の日」に紙つぶての豆をまく 鬼は外、福は内。みんな幸せに



「みんな幸せになろう」。節分の2月3日、利用者が豆まきを楽しみました。

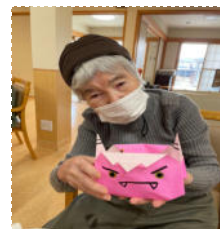
数日前から、豆の代わりにするため利用者が色紙を丸めた紙つぶてをたくさん作っていました。利用者は「鬼は外、福は内」と紙つぶてを力いっぱい投げていました。

この日のために、利用者は一人一人、色紙を追って鬼の顔を描いたかごを作りました。このかごに豆菓子を入れました。また、この日、ランチに恵方巻が出てみんな大喜びでした。



ひなの家 押野

野々市市押野1-31  
電話076(287)5810



④は豆菓子を入れた鬼のかご  
⑤は恵方巻

④⑤は豆まき

### 四季を撮る



### 冷え込む朝、雪かきに懸命



厳しく冷え込んだ冬の朝。ホームはすっぽりと雪に包まれていた。スタッフは早速、スノーダンプやスコップを手にして駐車場やホーム前の道路の雪かきに取り組んだ。送迎車が通行しやすいように、利用者が安心して歩けるように願って。

### ひな段飾りがお目見え

### もうすぐ春ですね

2月3日の「桃の節句」を前に、ひな人形のひな段飾りⅡ写真Ⅱがフロアにお目見えしました。



利用者やスタッフが協力して組み立てました。スチールの骨組みを階段状に組み上げて赤いじゅうたんを敷きます。

一番上にお内裏様やおひな様を乗せて、さらに三人官女や五人ばやしなども飾りました。屏風やぼんぼり、重箱、ひなあられなども置きました。華やかに出来上がったひな壇に、「とてもきれいです。もうすぐ春ですね」と利用者ほっこり見せていました。

# 小泉さんの宝物はシルバーカー 20年来、元気な歩行の支え



お気に入りのシルバーカーと小泉さん

ホームの最年長者、小泉鶴子さんの宝物は20年来使っているシルバーカー（歩行補助器）です。いつも傍らにおいて杖代わりに使っています。「おかげで、ずっと元気に歩いています」と「愛車」をいとおしそうに見つめています。

入口に展示してあったのが、目にとまりました。値段は2〜3万円だったでしょうか。そのときは持ち合わせがなかったが、家に帰っても忘れられず、売れてしまわないよう、すぐに買いに戻ったそうです。

車。チェアとバッグ付き。小泉さんが片手で持ち上げられるほどの軽さ。いつでもすぐに利用できるようにそばに置き、寝るときもベッドの傍らに置きます。小泉さんは「私の命から2番目に大事なものです。ずっと大切にしていきたい」と愛してやみません。

## わたしたち、新顔です



私たち2人は、つい最近ひなの家押野を利用し始めました。早くホームになじんで、ほかの利用者の皆さんやスタッフの方と楽しい時間をもち、ともだちをいっぱいつくりたいと思っています。よろしくお願ひします。

◎編集後記

弥生3月の声が届きそうな日、突然のドカ雪が降り、雪かきで大忙し。「春まだ遠い」と実感。日を前後して、近所の方からホームに芽吹いたばかりの薄緑のフキノトウをいただいた。「春のおすそ分け」を利用者皆さんで観賞。寒い日が続くが、花咲きほころぶ日はすべしうまい。(浦上)

## スタッフ紹介 「元気いっぱい」①⑨

### 看護師 おおにし あきこ 大西 明子さん



笑顔で介護に従事する大西さん

介護のスキルをアップさせたい

看護師歴30年近いベテラン。大阪府池田市出身。27歳のとき、七尾市出身の夫と結婚した縁で、石

川県に移った。これまで、訪問看護ステーション、特別養護老人ホームなどで働き、昨年7月からひなの家押野で働き始めた。「自分自身のテーマとして、褥瘡の最新ケアについて詳しく知りたい」と抱負を語る。

おおらかな人柄は利用者から慕われている。激安チケットを見つけて海外旅行するのが趣味。知人と一緒に、40代以上の男女の縁結びをする婚活ボランティアにも従事している。